

Contents

1. インカレ男子のご案内・主将抱負
2. インカレ女子のご案内・主将抱負
3. 夏合宿を振り返って
4. ご支援のお願い（再掲）
5. 第65回早慶定期戦結果
6. 国民体育大会結果（成年男子）
7. 国民体育大会結果（女子）
8. 新入部員・学生トレーナー紹介
9. 故加藤清忠先輩を偲んで
10. 第31回バーベル会結果
11. 年会費納入のお願い
12. 競技会成績



夏合宿 集合写真（山梨市民総合体育館）

インカレ男子のご案内・主将抱負

今年度のインカレ男子 I 部が以下のとおり開催されます。

首都圏にお住まいの皆さまにはぜひご来場いただき、ご声援くださいますようお願い申し上げます。会場にお越しただけない方もオンラインでの観戦・応援をよろしくお願いいたします。

◆ライブ配信URL（UNIVAS LIVE）：https://www.univas.jp/live/univas_cup/

第69回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会（I部）

期日：12月9日（土）～10日（日） 会場：日本大学生物資源科学部体育館（神奈川県藤沢市）

日程	階級	選手名
12/9 (土)	11:50	67kg級 西川和真（スポーツ科学部4年）
	13:10	73kg級 奥野伊真（スポーツ科学部2年）
	14:20	81kg級 駒阪勇氣（スポーツ科学部4年） 吉野真太郎（スポーツ科学部2年）
	16:00	89kg級 小山秀斗（スポーツ科学部3年） 須藤之博（スポーツ科学部2年）
12/10 (日)	09:15	102kg級 田中稜真（スポーツ科学部3年） 【補】長谷川元基（スポーツ科学部2年）
	10:30	109kg級 羽田創（スポーツ科学部3年） 菊地力哉（スポーツ科学部2年）
	11:50	+109kg級 木口永遠（スポーツ科学部4年）

OB・OGの皆さま、お世話になっております。早稲田大学ウエイトリフティング部・男子主将、スポーツ科学部4年の駒阪勇氣と申します。日頃より私たち部員へのご支援、本当にありがとうございます。

男子部員は女子より一週間早く、12月9日・10日に今年度の集大成であるインカレを迎えます。今年は、7月の東日本インカレで5位という悔しい結果に終わり、チームとしても課題の残る大会となりました。振り返れば、そこからチームで話し合い試行錯誤した半年間だったと思います。私自身、主将という役割の難しさを実感しました。それと同時に個人競技であり、団体競技でもあるウエイトリフティングの面白さも同時に感じることができました。

早慶定期戦も終わり、インカレまで残り少ない時間ではありますが、最後まで主将としての役割を全うし、男子部員一同全力でインカレという舞台を楽しみ、戦ってまいります。

ご声援のほど何卒よろしくお願いいたします。

男子主将 駒阪勇氣（スポーツ科学部4年）

インカレ女子のご案内・主将抱負

インカレ女子の部は以下のとおり開催されます。女子は創部以来初の「三連覇」を目指しての対抗戦となります。お近くにお住まいの皆さまにはぜひご来場いただき、ご声援くださいますようお願い申し上げます。会場にお越しいただけない方もオンラインでの観戦・応援をよろしくお願いいたします。

◆ライブ配信URL (UNIVAS LIVE) : https://www.univas.jp/live/univas_cup/

第69回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会 (女子)

期日：12月16日 (土) ~17日 (日) 会場：はびきのコロセラム (大阪府羽曳野市)

日程	階級	選手名	補欠
12/16 (土)	12:00	45kg級 佐々木暁 (社会科学部4年)	佐藤日路 (スポーツ科学部4年)
	14:00	55kg級 木村咲紀 (社会科学部4年) 吉田いぶき (スポーツ科学部4年)	徳田七海 (スポーツ科学部2年)
	15:30	59kg級 原志歩 (スポーツ科学部3年)	堤茉央 (スポーツ科学部2年)
	17:00	64kg級 橋本夏実 (スポーツ科学部3年)	
12/17 (日)	10:00	76kg級 田中美奈 (スポーツ科学部4年)	田中陽 (スポーツ科学部1年)
	12:00	81kg級 加茂千弦 (スポーツ科学部4年)	伊藤紗彩 (スポーツ科学部4年)
		+87kg級 吉田琴乃 (スポーツ科学部4年)	

主将の吉田いぶきです。平素より多大なご支援、ご声援ありがとうございます。

いよいよ、集大成であるインカレを迎えます。昨年のインカレで連覇を達成し、諸先輩方のバトンを最高の形で受け継ぎました。今年も、早稲田として前人未踏の三連覇を目指し、チーム一丸となり邁進してまいりました。夏合宿や早慶定期戦を終え、チームとしてさらに結束力を強めることができました。

インカレ三連覇という高い目標に向け、一途に競技力向上に努めることができたのは、ひとえにOB・OGの皆さま、岡田部長・吉岡監督はじめコーチ陣の先輩方、部員のご家族など多くの方のご支援・ご声援あつてのことです。部員一同、心より感謝申し上げます。諸先輩方から受け継いだ、三連覇のバトンを後輩たちに引き継ぎ、恩返しをしていきます。

いよいよインカレまで残り一か月となりました。早稲田女子らしく澆漑と、正々堂々戦ってまいります。引き続きご支援、ご声援くださいますようお願い申し上げます。

主将 吉田いぶき (スポーツ科学部4年)

夏合宿を振り返って

平素より多大なるご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

今年度は山梨県山梨市で夏合宿を行いました。4月に全日本選手権も行われた山梨市民総合体育館での練習は、大変実りあるものとなりました。

ウエイトリフティングだけでなく、レスリングやクロスフィットを織り交ぜたトレーニングも行ない、普段では経験できない特別な時間を過ごすことができました。自己ベストを更新した部員もあり、互いに声援の絶えない盛り上がりのある合宿となりました。

お忙しいなか足を運んでくださった先輩の皆さま、誠にありがとうございました。合宿の成果を糧に、12月のインカレに向けて部員一同、一層励んでまいります。

今後とも変わらぬご高配を賜りますようお願い申し上げます。

主務 加茂千弦 (スポーツ科学部4年)



ご支援のお願い（再掲）

総会資料やメール配信でご案内のとおり、ポストコロナでの部活動継続に向けて今年度も部財政援助の取り組みを企画いたしました。取り組みの趣旨をご理解の上、OB・OGの皆さまに広くご協力を賜れますと幸いです。

【女子大阪遠征・山梨合宿に向けた助成金の募金について】

今年度の女子インカレは、12月15日～16日に大阪府羽曳野市で開催される予定です。女子部員14名を主体とした遠征になりますが、往復交通費と宿泊費だけでも概算で100万円程度かかる見込みです。女子は創部以来初の「三連覇」を目指しての対抗戦となります。部員が安心してトレーニングに励み、目標とする成果を挙げられるよう、部の経済的負担軽減に向けてOB/OGの皆さまから広く助成金を募り援助に充てることとします。

また、今夏は山梨で合宿を行いました。シーズン後半の各大会に向けてチームとして弾みをつける重要なイベントですので、本合宿も助成金の目的に追加し、募金目標額を540,000円とします。

なお、募金はOB・OGが対象です。部員保護者の皆さまはご心配なさらないでください。

【募金目標額】

540,000円

山梨：一人10,000円×33名分（部員28名＋指導スタッフ5名）

大阪：一人10,000円×21名分（女子14名＋学生トレーナー2名＋指導スタッフ5名）

※9月末までに22名から計812,000円のご寄付を賜りました。ありがとうございます。

【募集金額】

一口5,000円（5,000円以上1,000円単位で任意）

【募集期間】

2023年12月末まで（予定）

【申込方法】

当会口座に直接お振り込みください。

振込先： 金融機関／支店 = **みずほ銀行 新宿新都心支店**
科目／口座番号 = **普通 8220922**
受取人名 = **トウモンウエイトリフティングクラブ**

【部奨学金の安定的運用に向けた支援金の募金について】

資源価格高騰の影響や気候変動に伴う風水害等の発生により、わが部においても家計急変で修学の継続が難しくなる部員が出てくるのが懸念されます。志を持って早稲田に進学・入部してきた後輩たちが誰一人として経済的理由により修学をあきらめることのないよう準備しておきたいと存じます。

【申込方法】

早稲田大学の寄付制度による「ウエイトリフティング部」指定寄付

※ 本制度による寄付は、寄付金控除の対象となります。

指定寄付は通年、以下のURLからお申込みいただけます。

<https://kifu-form.waseda.jp/waseda/exp/explanation.htm>

【操作手順】

1. 上記URLのページで『下記(上記)の条件に同意し「寄付を申し込む」』をクリック
2. STEP1申込入力で必要事項を入力、「寄付の種類」欄で「**体育各部または早稲田スポーツ全般**」を選択、続いて「**指定先**」欄で「**ウエイトリフティング部**」を選択
3. 決済情報入力後、『入力内容確認へ』をクリック、その後、STEP2確認画面～STEP3完了へと進む

第65回早慶定期戦結果



今回は両校の先輩方を制限なく迎えて開催

10月29日、早稲田キャンパス体育館において第65回早慶ウエイトリフティング定期戦が開催されました。コロナの影響もあり早稲田での開催は、2018年の第62回定期戦以来実に5年ぶりとなります。

競技は前半、女子が中心の早稲田に対し男子選手を揃えた慶應が優位に展開。早稲田は55kg級で主将・吉田いぶき選手が大会記録を更新、67kg級で橋本夏実選手が競り勝つ活躍で盛り上げ、さらに73kg級で西川和真選手・奥野伊真選手が確実に得点を挙げ、59対61と慶應に2点リードを許し、追いかける展開で折り返します。

後半、慶應の各選手も奮闘を見せますが、早稲田は81kg級で駒阪勇氣選手、89kg級で小山秀斗選手と吉野真太郎選手がともに大会記録を更新。さらに、+96kg級で菊地力哉選手がC&ジャークで180kgに挑戦して会場を大いに沸かせたほか、各選手が確実に試技を成功させ加点。団体戦は早稲田137点、慶應義塾97点で早稲田が勝利し、63回目の優勝を果たすとともに連勝記録を58に伸ばしました。

試合後には戸山カフェテリアで、4年ぶりに懇親会が行われ、互いに健闘を称え合い親睦を深めました。最後は両校インカレでの活躍と今後益々の発展を期して校歌斉唱とエール交換で終了となりました。



懇親会で校歌を歌う早稲田大学部員

第65回早慶ウエイトリフティング定期戦									
階級	55kg	61kg	67kg	73kg	81kg	89kg	96kg	+96kg	合計
早稲田	14	9	15	21	19	21	17	21	137
慶應	16	21	15	9	9	7	11	9	97



閉会式後会場にて 早慶両校部員 集合写真

国民体育大会結果（成年男子）

10月12日～16日、鹿児島県薩摩川内市で特別国民体育大会が開催され、早稲田勢は部員・OB・OGあわせて18名が各都道府県の代表として出場しました。

初日に行われた成年男子67kg級では埼玉県代表として出場した木村勇喜選手（R05卒）がスナッチ1位のアドバンテージをもって接戦を制し、見事優勝を果たしました。

また、宮城県代表・佐藤康太郎選手（R05卒）も73kg級で2位の成績を収めました。

いつもお世話になっております。令和3年卒・自衛隊体育学校所属・陸士長の木村勇喜です。2つ年下の佐藤2等陸曹（令和5年卒・佐藤康太郎選手）の部下として日々汗水垂らしながら働いております。

そんな私ですが、このたび埼玉県代表として出場した「燃ゆる感動かごしま国体」の成年男子67kg級で優勝という成績を収めることができました。私自身国体での優勝は初めてであり、目標の1つでもあったため、達成した瞬間は「安心」に近い感情が湧いてきました。しかし、結果は優勝であったものの試合内容やそれまでの取り組みについては多くの反省点が残る大会となりました。

今年も残すところあと1試合、今回の反省点を改善し、11月の全日本社会人選手権では自己記録を更新し、気持ちよくhappy new yearできるように、そして最大の目標である来年度全日本選手権での優勝に向けて日々の訓練に取り組んでいきます。今後とも応援のほど、よろしくお願いします。

木村勇喜（R03卒/自衛隊体育学校）



(写真：日本ウエイトリフティング協会 Facebook公式ページより転載)

特別国民体育大会ウエイトリフティング競技会

階級	選手名	学部学年	BEST				TOTAL	
			S	順位	C&J	順位	記録	順位
M67	木村勇喜	R03卒 自衛隊体育学校	127	1位	153	4位	280	1位
M67	西川和真	スポ4	120	4位	149	6位	269	5位
M73	安達貴弘	H25卒 若狭東高校(教)	128	6位	0	-	0	-
M73	生頼永人	H30卒 TeamSAGA SPORTPYRAMID	130	4位	166	4位	296	4位
M73	佐藤康太郎	R05卒 自衛隊体育学校	134	2位	170	1位	304	2位
M81	知念勇樹	R03卒 ANA大蔵空港(株)	115	13位	163	4位	278	10位
M81	吉野真太郎	スポ2	127	9位	155	10位	282	9位
M89	駒阪勇気	スポ4	129	7位	155	12位	284	9位
M109	羽田創	スポ3	125	13位	165	11位	290	12位
M109	菊地力哉	スポ2	135	10位	181	5位	316	7位
M+109	木口永遠	スポ4	131	10位	150	14位	281	12位

早稲田大学ウエイトリフティング部では随時、部員を募集しています。
学生トレーナー・マネージャーも募集中です。興味をお持ちの方はご連絡ください。
<https://www.waseda-wl.com/>

国民体育大会結果（女子）

4日目の10月15日に行われた女子55kg級では、滋賀県代表・堤茉央選手（2年）が2位、香川県代表・吉田いぶき選手（4年・主将）が3位入賞を果たしたほか、トータル6位までに早稲田の部員・OG 5人が名を連ねるなど、他の3選手も力を発揮して盛り上げました。

翌日行われた女子59kg級でも群馬県代表・原志歩選手（3年）が4位、東京都代表・橋本夏実選手（3年）が5位となり、早稲田勢は出場した全選手が入賞という結果でした。

なお、原選手と堤選手は、11月15日～23日、メキシコで開催されたIWF世界ジュニア選手権に日本代表として出場しました。試合の結果は、次回クラブニュースでお伝えする予定です。



女子55kg級C&ジャーク競技の表彰式

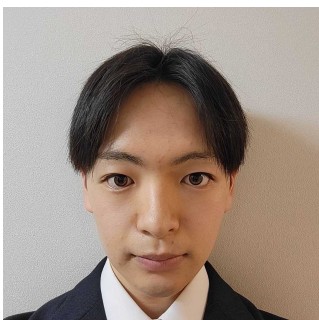
特別国民体育大会ウエイトリフティング競技会

階級	選手名	学部学年	BEST				TOTAL	
			S	順位	C&J	順位	記録	順位
W55	安嶋千品	H31卒 Team SAGA SPORTPYRAMID	79	5位	104	3位	183	4位
W55	小堀美穂	R04卒 宇都宮市役所	80	4位	101	6位	181	4位
W55	吉田いぶき	スポ4	76	7位	108	1位	184	3位
W55	木村咲紀	社学4	80	3位	101	5位	181	5位
W55	堤茉央	スポ2	83	2位	102	4位	185	2位
W59	原志歩	スポ3	84	4位	107	2位	191	4位
W59	橋本夏実	スポ3	83	5位	104	4位	187	5位

新入部員・学生トレーナー紹介

今年度新たに男子1名の新入部員を迎えました。将来の活躍が期待される新入部員に以下の質問を投げかけてみました。プロフィールと合わせてご覧ください。

- ① なぜ早稲田で学生トレーナーをやろうと思った？
- ② 早稲田に来て驚いたことは？
- ③ 今後の目標は？



手嶋 章人
(てしま あきと)

学部：スポーツ科学部
出身高校：京都府・比叡山高校

- ① トレーナーになるための環境が充実していると感じたから
- ② みんな超人なところ
- ③ 一人前のトレーナーとしてチームに貢献する

故加藤清忠先輩を偲んで

4月に加藤清忠先輩（昭和38年卒）が永眠されました。故人の長年に渡る我が部ならびに当会へのご指導・ご支援に対し感謝の意を表したく、数野裕之先輩（昭和59年卒・副会長）に追悼文を寄せていただきました。ここに謹んでご紹介させていただきます。

「気合あんのか、やる気あんのか、声が聞こえねー、声出せ」これは、高校時代に私が所属した軟式野球部で毎日聞こえてきた罵声です（昭和60年卒の高橋明君も同じ経験をしています）。監督、OB、先輩からのしごきはまあ当たり前だと思っていました。

新しいことにチャレンジしようということで、大学で入部したウエイトリフティング部の監督が加藤清忠先生でした。先生は2時間の練習中ほとんど何もしゃべらずただ見ているだけ。時々「もうやめとけ、やりすぎちゃダメだよ」と「ダ」にアクセントを置いて、表情を変えずゆっくりただ一言だけ。練習後の整列でも「新入生の諸君は、やりたい気持ちはわかるが、フォームが決まるまで重いのやっちゃダメだよ」。と、これまた表情を変えずおなじみのセリフが毎日。なんともまあ練習をセーブさせられた感じが。高校時代の経験から「こんなでいいの？」と徐々に疑問を持ち始めましたが、よく考えてみると「無駄なことはするな、効率良い練習で成果を上げろ、ウエイトリフティングだけに集中せよ、科学的トレーニングこそ必要」ということのように、ある意味納得。これが加藤先生の生涯の研究テーマでした。

ずっとインカレ2部に甘んじていた我が部でしたが、徐々にチームがまとまり始め、ついに高橋靖男先輩（昭和57年卒）の代で見事優勝、1部昇格を果たしました。会場は横浜でした。加藤先生は当然のように表情を変えず（ちょっとだけっこりして）「おめでとう。良かった」の一言。でも私にはこれがとてもとても重く感じました。

我々が4年のインカレでは先生の期待に応えられず2部降格。しかし、責任を感じてがっかりした加納修君（我々の代の主将）は監督に責められず、かえって励まされたようで、それがまた加納君の卒業後の大きな躍進につながりました。

加藤先生とともに過ごした合宿も我々の思いが詰まっています。先生は愛媛出身、私が2年の時、新居浜合宿を行いました。そこでは地元稲門会が我々のために激励会を開催してくださり、監督とともに、頑張らねばという思いを強くしました。1部昇格の前祝でした。余談ですが合宿中、私が監督室に行き、「新居浜のお土産は何が有名ですか」と尋ねたところ、ただ一言「うーん、一六タルトだね」とおっしゃったので、教えられた店に入ったところ、違う系列の店だったので別の土産を買った思い出があります。

加藤先生は部の監督として6年間勤められました。私は4年間もろに加藤監督の時代でした。物静かでは



1981（昭和56）年 インカレ2部優勝 集合社員



1981（昭和56）年 新居浜合宿 集合社員

ありましたが独特のオーラがあり、私のような初心者にも目を向けてくださいました。また部の仲間には「加藤ゼミ」で学んだ部員も多く、いろいろと温情をかけてくださったようです。

その後、監督退任後も部長として、そして体育局長としての役職にも就かれ、退官されました。その都度お祝いをし、功績をたたえました。在任中には書籍・論文も多数出版され、これは後から知ったのですが、医学博士も取得されたようで、とても勤勉で偉大な方でした。しばらくご無沙汰しておりましたが今年4月に、先生が逝去されたと、とても残念な一報が入り、驚きを隠せませんでした。お世話になりました。謹んで哀悼の意を表したいと思います。

数野裕之（S59卒）

第31回バーベル会結果

11月9日、厚木国際カントリー倶楽部において4年ぶりにバーベル会（早慶重量挙OB親睦ゴルフ会）が開催されました。当日は絶好のゴルフ日和で、参加者全員のびのびとプレーを楽しむことができました。

慶應重量挙三田会から6名、探球会から10名、計16名がエントリーし4組に分かれてラウンド。競技方法は両校上位5名のグロス合計による団体戦と新ペリア方式による個人戦が行われました。

プレー後に表彰式・懇親会が行われ、団体戦は慶應525ストロークに対し早稲田507ストローク。18ストローク差で早稲田が勝利し通算成績は早稲田19勝、慶應12勝となりました。個人戦は探球会・幾島稔先輩（H03卒）が優勝。ベストグロスは92ストロークで森武彦先輩（S45卒）でした。

探球会では新規メンバーを募集しています。バーベル会を含め年に2～3回開催していますので、ゴルフの経験がある方、まだ始めたばかりの方も、親睦を深めるためぜひご参加ください。

石橋義久（S51卒・探球会会長）



第31回バーベル会 スタート前に参加者全員で記念撮影

年会費納入のお願い

早稲田大学ウエイトリフティング部の運営ならびに選手の育成・強化のため、また勧誘活動・受験指導のため、当会からの経済的支援が不可欠です。年会費の納入がまだお済みでない方はお振り込みをお願いします。

納期：	2023年度分は2023年12月末までに（なるべくお早めに）お振り込み願います。			
振込額：	卒業4年目以降：	15,000円	卒業3年目まで：	10,000円
振込先：	金融機関／支店	=	みずほ銀行	新宿新都心支店
	科目／口座番号	=	普通	8220922
	受取人名	=	トウモンウエイトリフティングクラブ	

競技会成績

2023年6月30日～7月2日			第51回東日本大学対抗ウエイトリフティング選手権 (男子)								
階級	選手名	学部学年	BEST						TOTAL		
			S	順位	点数	C&J	順位	点数	記録	順位	点数
M67	西川和真	スポ4	121	3位	6点	146	3位	6点	267	3位	6点
M81	駒阪勇気	スポ4	126	3位	6点	156	1位	8点	282	2位	7点
M81	吉野真太郎	スポ2	124	5位	4点	154	4位	5点	278	4位	5点
M89	小山秀斗	スポ3	128	5位	4点	154	6位	3点	282	6位	3点
M89	須藤之博	スポ2	121	8位	1点	140	9位	0点	261	8位	1点
M96	長谷川元基	スポ2	棄権	-	-	棄権	-	-	-	-	-
M102	田中稜真	スポ3	116	5位	4点	143	6位	3点	259	6位	3点
M109	羽田創	スポ3	120	6位	3点	156	6位	3点	276	6位	3点
M109	菊地力哉	スポ2	131	4位	5点	171	3位	6点	302	4位	5点
M+109	木口永遠	スポ4	133	4位	5点	153	8位	1点	286	6位	3点
										早稲田団体得点 109点	
										団体順位 5位	

【学部表記凡例】 スポ：スポーツ科学部 社：社会科学部
 【記録表記凡例】 J：ジュニア U：大学 C：大会 S：タイ記録 R：新記録

2023年6月30日～7月2日			第51回東日本大学対抗ウエイトリフティング選手権 (女子)								
階級	選手名	学部学年	BEST						TOTAL		
			S	順位	点数	C&J	順位	点数	記録	順位	点数
W45	佐々木暁	社4	58	1位	5点	71	1位	5点	129	1位	5点
W55	木村咲紀	社4	78	1位	5点	99	1位	5点	177	1位	5点
W55	堤菜央	スポ2	77	3位	3点	99	2位	4点	176	2位	4点
W59	原志歩	スポ3	84	2位	4点	104	1位	5点	188	2位	4点
W64	橋本夏実	スポ3	82	3位	3点	106	2位	4点	188	2位	4点
W76	加茂千弦	スポ4	84	2位	4点	100	2位	4点	184	2位	4点
W81	田中美奈	スポ4	92	1位	5点	123	1位	5点	215	1位	5点
W+87	吉田琴乃	スポ4	21	2位	4点	40	2位	4点	61	2位	4点
										早稲田団体得点 104点	
										団体順位 1位	

2023年9月8日～10日			第47回東日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会						
階級	選手名	学部学年	BEST				TOTAL		
			S	順位	C&J	順位	記録	順位	
W55	木村咲紀	社4	79 CR	1位	100 CR	1位	179 CR	1位	
M81	駒阪勇気	スポ4	0	-	150	2位	0	-	
M81	吉野真太郎	スポ2	120	1位	147	4位	267	3位	
M89	小山秀斗	スポ3	120	4位	120	7位	240	7位	
M109	菊地力哉	スポ2	135	3位	174	2位	309	2位	
M+109	木口永遠	スポ4	125	2位	140	2位	265	2位	

2023年9月8日～10日			第20回東日本学生ウエイトリフティング新人選手権大会					
階級	選手名	学部学年	BEST				TOTAL	
			S	順位	C&J	順位	記録	順位
W76	田中陽	スポ1	60	2位	77	2位	137	2位
M73	奥野伊真	スポ2	101	5位	65	13位	166	11位



東日本インカレ女子団体優勝



東日本学生個人戦優勝 木村咲紀選手